

# 栄八通信

武雄市議会だより

(Web版) 始めました

http://ei-8.info/

第 7 6 号

R1年 1 4 (7) 10 月発行



武雄市議会議員  
宮本 栄八  
TEL・FAX 23-0750  
携帯 090-5083-0793

## びっくり (案)だけ消えて正式に!

前回、市内スポーツ施設の更新や統合、廃止の案を、まとめて紹介した。特に白岩の相撲場を北方の相撲場に統合するなどは、合意が必要と思う。また、この計画に対して市民会議からの意見が、13項目も出されている。

それらの意見が計画に反映され、もう一度、市民会議で話し合っただけで、市民会議で話して決めたものと思っていた。

しかし、会議も開かず全く内容は変えず(案)がとれて正式計画に。また、その(案)が取れたものも、議員全員には配布されず、正式に決定した事を知らない議員が多い状況。

一方、今年、計画前に唐突に示された、白岩体育館を白岩球場の場所に、球場を、東川登町の新幹線の残土埋立地に移転新築する案だが、後付け理論のためか、700万円をかけて白岩公園全体や東川登用地を含め可能性の調査が発表され、5月中旬に報告書が出来ていくことが判った。

しかし、内容は、公表しないとの話で、現在、私は市に情報公開の請求をしている。

一方市長が、スポーツ振興を重点政策に上げ、市長部局にスポーツ課を設置したのに、何故変な動きになるのかを考えてみると、

元々、アセットの施設統合の話からスタート、色々調べ、意見を聞く中で、武雄市の施設が他市のスポーツ施設より、遅れていることなどが明確になり、整備を求め声が拡大するのを恐れて、情報

を小出しにしたり、正面から、競技関係者から意見を聞いたりしないのではないかとと思う。

私は課には、まずスポーツマスタープランなど作り、市の将来計画を、少年・学校・社会人の各団体から意見を聞いて修正し、官民協同で、財政の許す分を計画的に進めていけばと提案はした。

一方、課の動きは、R5年の佐賀国体に新体育館、R4年プレ大会に新野球場を会場とする為に、それぞれ、1年前に完成させることに追われて、市スポーツ全体の話をしながら、心ここにあらずの状況なのではないかと思う。

また、先の白岩調査の報告書は見せないが、1枚のプリントで概要が示され、それには、新白岩体育館は、北方の西体育館廃止分の面積を加えた3,700㎡で、駐車場300台新球場は(両翼98m中堅122m)駐車場100台で、基本計画を今年度で作るとのこと。

## アセット計画の個別計画とは?

国の方針で、各自治体は、公共施設の更新について将来計画を作ったところしか補助金を出さない方針を打ち出している。そこで日本全国で「公共施設等総合管理計画」を策定している。武雄市では、これを短く、アセット計画と呼んでいる。

以前にも紹介したが、武雄市では、40年間に、人口が約30%減るので、建物面積等も、30%削減す

## 「議長の任期2年へ」に市民はどう思いますか

議長・副議長の任期が、急に4年から2年に変更された。私自身は、法律上は4年で、これまで特に不便を感じたことはなかった。

今6月に、会派代表者や議会運営委員会をへて、議会の申し合わせ事項として決定した。

私は、今急に降って沸いたように議題になったのか?と尋ねると、他市でもいわゆる2年任期が多いとの話。そんな状況は以前からあり、反対までしないが、何でという疑問は残っている。

また、これまでの立候補制を止めることも決まり、自由に書ける反面、水面下の多数派工作も強くなる心配もある。また、実施は、来年からのことや、再任は防げない規定だが、私は4年前を前提に選挙で選ばれた現正副議長の任期が急に2年になるのは、変だとは思っている。

## 図書館の改善3つのポイント

市民の方から、電話があり、武雄市の図書館は、「昔雑誌のいっぱいあったばってん、今はなか」との内容だった。

私は「普通、図書館の雑誌は、新聞などと一緒に、入口近くに置いてあるんじゃないですか。」と言うと、「あんな図書館行きよらんやろ。」と言われた。

「ズバリその通りだった。」私自身、以前は図書館に調べ物や、車で聴く、CDなどを主に利用していた。しかし、ネットで調べCDについては、前市長が民間委託の一番の理由に、CD、DVDの充実をあげられていたので、充実を期待したが、逆に6棚が2棚に減っていて、駐車場が混んでいることもあり、たまに歴史の企画展を見る程度。そこで、改めて図書館に行つて気づいた3点について、今議会一般質問をして尋ねた。

【雑誌について】1時間ほど見て回つたが確かに雑誌は見当たらず、近くのスタックに尋ねると、「それについては、取り扱っておりません。」と言葉は丁寧だが、やはりないのかとビックリ。100万人の来場なら、同じ雑誌が10冊くらいあってもおかしくないと思う。

そこで、議会で質問すると、答えとして、週刊誌は置いていないが、月刊誌は置いていない。また週刊誌は内容が良くないものがあるとの主旨の答え。伊万里図書館には武雄より来場者数は少ないが、週刊新潮・現代など10種類以上でニューズウィークまであるとの事で、新刊以外は貸し出しも可能で利用者も多いらしい。

一方、今後武雄市図書館に週刊誌の導入を実現するためには、今一度、選書委員会の方に購入指針を明確に示してもらい、週刊誌全てが悪ではないと思うので、合意できたものについては早急に導入して、特に本好きでもなくても、

コピー好きじゃなくても、来やすい図書館になってもらいたい。【CD・DVDについて】リニューアル時、充実を言っていたCD・DVDだが、逆に少なくなつたのは、蘭学館を廃止して、有料レンタルが出来たからと見る人も多かった。私自身、だから言っても一緒と思つていたところもある。ただ、現在は、レンタルは廃止されているので、もう一度、充実をできないかの質問をした。

市の説明としては、CD・DVDは価格が高い・要望がないなど。CD等のリクエストをすれば要望はあるのではと反論した。

結局、市は、本と同様に充実していくとの答えで一安心。

一方、金をかけずに充実するためには、購入作品を少数精鋭にしなければならぬので貸出回数などをデータ化して選定してほしい。

ただ、ツタヤさんは中古CDは

大量にもたれているので、逆にそれを安く購入して、日本一の音楽ライブラリーにするのも良いのではと思う。

【館内案内のルール】館内利用ルールが分かりにくい。①販売用の本も自由に、読めると話だが、持って奥まで入ると良いのか? ゴムかけてあるものはダメなのか? 折曲がったり飲み物で汚した場合どうなるのか? など

②飲食のルール、自分の水筒は飲めるが、黒の椅子と白椅子は利用が違ふのか。一人がスタバで購入した時、友人も同席して良いのか? など館内飲食と指定場所やスタバで購入しないものは、どの範囲内なのか、分かりにくいのでイスに明示するなど、誰にもわかりやすい案内をできないのか質問。

市の答えとしては、サインージュに表示してあるとの答え。

しかし、わかりやすくはない。後で聞いたところでは、販売用の本も持って行って、ゴムも外して、また、つけければ良いとの話。ただ、付録は開封はダメとのこと。

## 子どもの弱視にカメラでの検査を

6月10日のNHK佐賀の夕方の放送で、子供の弱視検査のリポートがあつてた。(主な内容は)

現在は、3歳児検査の時、各家庭で、Cの型のカードで見え方を調べる、ランドルト環で親が検査して、問題がある時は、保健師に相談する方法。

ただ3歳児が、自覚症状を的確に表現できない、しない時もあり、見過ごされることがある。

また弱視検査は、近視・遠視・斜視や片眼のみと場合など対応。また、子供の視力は、生まれて、0.1から、3歳児の時には、1.0までに急発達し、7歳ぐらいで完成するとのこと。早期の治療が回復のポイントとの話。

そこで、最近、発売された、カメラ型の機械のスポットビジョン



カメラ型検査装置

# 長崎新幹線問題 国の負担でミニ新幹線を

長崎新幹線の問題は、6月に与党のプロジェクトが出す、フルコミニかの結論は先送りになった。参院選への影響や、山口知事の「佐賀県は一度もフルを求めた事はない」に、一定の正統性や説得力があると思われる。

武雄市は、フル規格を推進しているが、ただ変化も感じる。

5月に、国へのフル規格陳情に長崎・諫早・大村・嬉野・武雄のいわゆる、沿線5市の市長・議長がそろって行かれたが、武雄市からは、副市長・副議長が出席されていて、切迫度に温度差を感じざるを得ない。

また、6月県議会の一般質問の佐賀新聞報道によれば、これまで武雄温泉→佐賀空港→筑後船小屋ルート、フル規格を主張されていた、地元県議が、フル規格に反対の意見を述べられた事が、記事掲載。理由は、多額の県負担。国の責任で解決すべきとの主張のよう。

◎改めて、私の考えとしては、時間短縮効果の少ないフル規格に多額の費用を使って、県道・県河川に使う土木事務所の予算が減る方が、市民生活には不利益と思う。

また、フル規格になれば、今の佐世保線が、新平行在来線になり、第3セクター運営にならなくてもJR九州は、鹿児島ルートのように特急を廃止し、高くても新幹線が、普通で我慢するかの選択に追い込まれる可能性は高い。

一方、3年後には、リレー方式で開業し、フリーゲージの時には半分しか止まらないとされたが、全便止まるのを、いかに武雄市への集客につなげるか、当面の課題。また、たまたま見た久留米市議会報には、駅周辺整備は進んだが来訪客は、増加していないとの一般質問のやり取りが載っていて、

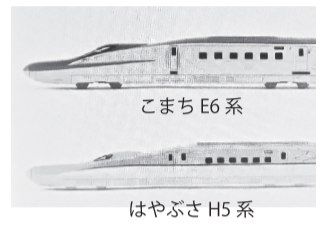
新幹線・駅周辺整備が、即、観光客増になるのは幻想かもしれない。

◎私のリレー後に對する考えとしては、元々、長崎新幹線は、時速200kmのスーパー特急方式。フリーゲージトレインが、両方走れるとの理由で、武雄以西をフル規格に変更。

本来なら、F.G.Tの断念の時点で、線路幅を狭規に変えて、スーパー特急方式に戻るのが本筋。それを変えないなら、リレー方式は、このスキームでの終着点。リレー方式の長期化は、当然過ぎるほど当然。リレー方式を変えるなら、F.G.Tの完成を待つと同様の効果が見込める、ミニ新幹線の導入しかないと。しかし、県に落度はなく、交通網として国家的に必要なならば、これまで合意したF.G.Tの負担額で、ミニ新幹線を国の責任で整備すべきというのが、私の考えです。

ミニ新幹線について、秋田に訪問した時にたずねる答に、そう不満の声は聞きません。秋田から盛岡ではやぶさに連結して、最高速度320km/時で、東京まで直通です。また、秋田→盛岡間は130km/時で、普通の特急料金なので、博多→武雄間も同様のメリットが想定されます。

フル規格の考え方に、まったくの反対ではありません。しかし、今のスキーム変更には無理があり、新たに、費用負担、ルート・新平行在来線問題を改めて、県民に問う必要があると思います。



## ふるさと納税 新たなルールに 向けて

武雄市も除外されたみやき町と同じシステムで運営していた。H28年は、約2億からH29年約7億円H30年は20億円に増加した。その為、現在、国からはグレー自治体と判断されている。

そこで、今季の期限9月を前に6月までサイトを停止し、地場産品の範囲を自主的に見直し、7月に再開。また、9月以降の新たな申請もする。委託業者も再選定し、ジッパーから太平洋商會に変更。

また、今までは、返礼品に50%使っていたが、今後は、返礼品・送料・委託料・システム使用料を含めて50%になり、武雄市に入る寄付額は増加する。

一方、もうひとつの側面、地場産品の開発や、商品化に、これを機会に本腰での取り組みを期待。

## 市営住宅の課題 LPGガスの契約

古い住宅は、入居者が色々のガス屋さん契約したり、灯油ボイラーにと選択肢があつた。ただ建替えになると、集中ガス方式になるので選択肢はない。さらに、その市営住宅のガス供給業者は、地区のガス供給組合から推薦された業者が担当。

ただ問題は、プロパンガスは都市ガスと違い、自由料金制なので業者で料金が違う。

一方、武雄市役所などは、毎年ガス組合と料金を定めているのに、市営住宅については、入居者が払うので関係ないのか、全く料金等の把握はされていない。

そこで、今回市営住宅のガス供給料に一定の基準を設けて入居者への提供をすべきと質問。

市は、適正価格での供給されるよう調査研究する趣旨の答えだが、まずは明確なルール作りが必要と思う。

## 西部ゴミ処理センター それでも少し 高い気がする

今議会で、私の通信75号の西部ゴミ処理場の記事に対して、広域圏の議員が執行部に確認の形で、一般質問し批判された。

内容は、「ゴミ処理一年間西部は約14億円で、糸島は7億円で運営している、やり方次第では、もっと安価で運営できると確信を持つた。」との文章に対し、M議員は、西部はゴミ運搬料が約5万t、糸島は約半分程度しかないの、西部の運営費を比べて、高いというのは違っているとの批判。

確かに後で調べてみると、施設は同じ200t/日の施設だがゴミの運搬料は半分強だった。そこで、糸島のセンターにゴミが半減したのかと聞くと、建設時の専門家の計算違いで、過大建設し、2炉を交代で使っているとの話。しかし、私が糸島を例に使ったの

は、西部が機種選定という重要な判断の先進事例にしたのが同じ200t/日の糸島だったから。そうならば、半分の処理と知り、糸島の機械や、稼働状況を参考にしたこと自体の問題も出てきた。

一方、糸島以外でも、松江や習志野も200tで、ゴミ量は多いが、10億円程度で、年間3億円ほどは安い。

75号で、やり方次第では、もっと安くするとの意味は、運営を全て任せる包括委託。一部、直営があり、西部は包括なので割高になっている。壊れた時の安心の分が高い。そこで包括していない施設に心配はないかと聞くと、大手ブランドメーカーで、また壊れるようなところは選んでないとし、直営だとコークスの仕入れ、有価物の売却など、やり方次第との話。

## 旧市役所跡地 駐車場整備完了

今7月、やっと旧市役所跡のASFアルト舗装が済み、職員駐車場として利用開始した。138台。以前議会で、立体駐車場化したが良いのでは、との提案もされていた。今回、正職員の分は、確保されたようで、まだ新幹線工事に貸している部分もあり、今後、何か建物を建てなければ、立体化は不要のような状況。

一方、これまで駅南駐車場(旧清本跡)を職員用として借りていたため、年間450万円程度支出していたため、その分は経費削減にはなった。

一方、駅南駐車場は、現在民間所有だが、職員駐車場や選挙事務所等に利用されていたが、もともと市が駅周辺整備に備えて、長期保有してきたわけで、今後、新幹線開業やハブ都市作りに役立ってほしいと思う。

## 投票所の効率化 国県300万円市500万円

選挙の投票所の見直しを実施される。3年前から、選挙で検討してきたとの話。私自身、大胆な削減と思つたが、人口や、面積の多い伊万里市でも、すでにその程度とのこと。具体的には、市内33ヶ所から18ヶ所に。それに伴い、ポスター掲示板も、244から167に。市は廃止前の投票所の場所から、新投票所まで、マイク口か貸上タクシーで、改装するとの対策を実施する。

議会では、市議より「移動投票所バス」を回す案が出されたが、今後選管が実施するかは不明。※削減の具体的数は右の通り。

経費削減見込み	削減額
国・県選挙	△300万円
市議選挙	△500万円
投票所数	
旧武雄	24→13
旧山内	8→4
旧北方	4→4

## 森林環境税 県も国も課税？

現在、県民税に500円上乗せで、森林環境税が徴収されている。今回、国が震災地の復興税を所得税にかけていたが、R5年に終了するので、それを、森林環境税に衣替えする模様。ただ、国はその税収を見込んで、今年度から約1千万円を市に9月に交付し、使いは、市が決められる。ただ県と国の二重課税の件については、県が、継続か、廃止かは、今後決める模様。

	国	県
創設	R6	H20～
徴収	1,000円	500円
市への交付	1,000万円	約500万円
事業主体	市	県

## 水害対策 素晴らしいため池活用

今年も雨期を迎えたが、一つの素晴らしい事業がある。それは、北方町の中学校の北側にある、ひいらぎの葉のような形をした浦田ため池の、水門というか、収水口を手動から電動に、800万円をかけて整備された。それ自体は珍しくないが、もともと水道用としていた分を、西部広域水道に加入して、不要となつたので、池の水を下げておいて、大雨の時に、そこに貯めて洪水対策として、活用する初の事業。

これが、なかなか難しいことで、関係者に感謝。今後も増えてほしい。

